

フェイスリフトとは

フェイスリフトとは、メスで切開し余った皮膚・SMASを、切除またはタッキングすることで、たるみ改善に効果があります。

目立たない部分から切開し、内部から組織を引き上げ、たるみを改善するとともに皮膚を引き上げる施術となります。

フェイスリフト後の状態・ケアについて

- ・術後1週間はなるべく入浴は避け、軽いシャワー程度にしてください。
- ・メイクは翌日から可能ですが、最初のうちはなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。
- ・強い腫れは、1~2週間程度で引いていき、その後も時間の経過と共に腫れが引きます。
- ・内出血については、個人差がありますが数週間前後で消失します。
- ・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。
- ・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。
- ・術後は、しばらくの間強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間程は縫合部周辺が不安定な時期のため、なるべく負担がかからないよう十分に注意して生活してください。
- ・口を大きく開ける行為はお控えください。
- ・顔全体のマッサージは、術後1ヶ月程度はお控えください。

※経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し、患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

フェイスリフトで生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

顔全体に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【左右差】

手術直後より左右差が出る場合があります。ダウンタイム中はとくに左右差を強く感じる場合があります。元々人体は左右非対称であり、また個々の顔の形、筋肉の動き、普段の生活上の癖、表情などが原因で、完全な左右対称にはならない場合があります。

【痛み】

術後麻酔が切れると顔全体に重だるい痛みがありますが内服薬をお飲みいただきます。

【腫れ】

直後より腫れが起こります。概ね2週間ほどで大きな腫れは引いていきます。

【感染】

術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服などが必要となる可能性があります。

【拘縮】

術後、1か月をピークに一時的に皮膚が固くなる時期があります。笑わずらさやひきつれが気になる場合がありますが時間とともに柔らかく自然になってきます。

【しびれ・顔面神経麻痺】

手術により非常に細かく小さい神経を触ったり傷つくことがあり、術後に痺れや顔が動かしくくなる場合がありますが多くの場合は3~6ヶ月で回復します。

【壊死】

手術操作による血流障害により組織壊死をすることがありますが、その場合は医師の判断により処置や再手術を行います。

【唾液瘻】

手術操作による耳下腺の損傷により皮下に唾液が貯留することがあります。自然治癒することがほとんどですが処置や再手術を行う場合があります。

フェイスリフトをお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、挿入部位周辺に怪我や炎症がある方、麻酔剤にアレルギーをお持ちの方、その他医師が不可と判断した場合は手術を受けられません。

©2024 医療法人社団 桜恵会

THE ONE.